

- 問1 日本国内における国民1人当たりの米の年間消費量は、1980年の約79キログラムから2020年には約51キログラムへと大幅に減少しています。こうした国内市場の変化に対応するために行われている、日本産米の輸出促進の背景として最も適切なものはどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 海外諸国で米の生産が困難になり、日本産の安価な米に対する国際的な需要が急激に高まったため。 2. 政府が外国産の農作物の輸入を全面的に禁止したことで、日本産米を海外へ送る余裕が生まれたため 3. 国内の米の生産量が消費量を大きく上回って急増したため、過剰な在庫を処分する必要が生じたため。 4. 世界的な日本食ブームを追い風に、安全で高品質な日本産米が海外で高く評価されているため。
- 問2 2022年の統計において、レタスの生産量が全国第3位（約3万7000トン）であり、九州地方における主要な産地となっている都道府県はどこですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
1. 長野県 2. 長崎県 3. 群馬県 4. 茨城県
- 問3 堺市の区別の人口と面積を示した統計において、北区は最も人口密度が高い数値を示しています。この北区の交通網の特徴として、大阪市の中心部へ直結する地下鉄御堂筋線が乗り入れていることが挙げられます。このように、特定の地域に地下鉄などの大量輸送機関が整備される背景として最も適切なものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 多くの利用客が見込まれるため、莫大な建設費を投じても効率的な運用が可能になるから 2. すべての区に一律に地下鉄を整備すると、特定の区に人口が偏らなくなるから 3. 地下鉄を整備することで、その地域の面積を拡大させ人口密度を下げる必要があるから 4. 人口密度が高い地域は地価が安いいため、駅の建設用地を安く確保できるから
- 問4 新潟県、北海道、秋田県、茨城県などが都道府県別農業産出額の上位を占めている農産物について、その生産地域や方法に関する説明として正しいものはどれですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 越後平野や秋田平野などの広大な平野部で、大型機械を活用した効率的な生産が行われている。 2. 山地が多く平地が少ない地形を克服するため、段々畑を利用した果樹栽培が主な生産形態である。 3. 大消費地に近い立地条件を生かし、茨城県などを中心にビニールハウスを用いた促成栽培が中心となっている。 4. 冷涼な気候が生産に適さないため、現在は南九州などの温暖な地域が主な供給源となっている。
- 問5 日本の工業地域を比較した統計において、中京工業地帯、北陸工業地域、東海工業地域の3地域を比べたとき、東海工業地域の傾向として述べた文として正しいものを選びなさい。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 工業出荷額の合計は中京工業地帯より少ないが、出荷額に占める輸送用機械の割合が高い傾向にある。 2. 中京工業地帯と比較して、情報通信機械器具の出荷額が輸送用機械の出荷額を大きく上回っている。 3. 輸送用機械の割合は北陸工業地域よりも低く、食料品や繊維工業の割合が半分以上を占めている。 4. 3地域の中で工業出荷額が最も多く、鉄鋼や石油化学などの基礎素材工業が中心である。
- 問6 日本の貿易に関する統計資料において、輸入総額の規模がほぼ横ばいで推移する一方で、輸出総額が大きく増加し、輸出額が輸入額を大きく上回る状態が継続・進展することを何と呼びますか。最も適切なものを選びなさい。 (2025年 三重県公立入試 類似)
1. 貿易赤字の縮小 2. 貿易収支の均衡 3. 輸入依存度の向上 4. 貿易黒字の拡大
- 問7 札幌市などの卸売市場において、北海道産の出荷が減少する冬から春の時期に、宮崎県などの温暖な気候を活かして野菜を栽培し、市場へ出荷する栽培方法を何というか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 園芸農業 2. 近郊農業 3. 抑制栽培 4. 促成栽培
- 問8 1955年から1970年ごろの統計において、日本の総人口は増加傾向にあったにもかかわらず、大分県などの地方では一時的に人口が減少していました。この現象が起きた直接的な要因として適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 第2次ベビーブームが終わり、若年層の人口が急激に減少したため 2. 高度経済成長の影響により、就業機会の多い大都市へ向けて激しい人口流出が起きたため 3. 大都市から地方への移住を促す「Uターン現象」が全国的に拡大したため 4. 地方において過疎化による自然減が深刻化し、出生数が死亡数を大幅に下回ったため
- 問9 アフリカ州の鉱産資源について述べた資料において、ブラチナやコバルトといった資源の輸出が経済を支えている状況が見られます。これらの資源の性質や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 鉄を主成分とし、磁石に吸い寄せられる性質を持つ、大規模な鉱山で安価に採掘される金属の総称である。 2. アルミニウムのように密度が小さく、軽量化が求められる航空機の機体などに多用される金属の総称である。 3. 地殻内での埋蔵量が少なかったり、純粋な金属として取り出すことが難しかったりする金属の総称である。 4. 腐食しにくく、古くから宝飾品や通貨として世界中で高い価値を認められてきた金や銀などの総称である。
- 問10 日本の農業において、農薬散布の作業を人力で行う場合とドローンを活用して行う場合を比較した調査があります。人力では人が歩いて散布し、10aあたり約39.2分かかっていた作業が、ドローンの自動散布を活用することで約13.2分で完了するという結果が出ています。このような技術を導入する主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 農地の面積を縮小することで、少ない肥料でも栽培ができるようにすること 2. 農薬の散布時間を延ばすことで、害虫による被害をより確実に防ぐこと 3. 身体的な作業の負担を軽減し、作業時間を大幅に短縮することで、生産性を向上させること 4. あえて人の手による作業を増やすことで、農作物の付加価値を高めること
- 問11 日本において、人口が著しく減少したことにより、教育や医療、防災といった地域生活を維持するための機能が弱くなっている地域のことを何といいますか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 過疎地域 2. 都市圏 3. 限界集落 4. 過密地域
- 問12 日本の食料自給率の推移において、1960年には100%近い数値であったものの、2017年には40%程度まで右肩下がりに大きく低下した品目として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 果実 2. 米 3. 小麦 4. 肉類
- 問13 日本の発電所の分布について、火力発電所が東京湾、伊勢湾、大阪湾などの海岸線沿いに集中している主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 石炭や液化天然ガスなどの燃料を海外から輸入するのに便利のため 2. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーを効率よく利用できるため 3. 内陸部に比べて地価が安く、広大な敷地を確保しやすいため 4. 水力発電と同様に、大量の真水を冷却水として確保しやすいため